



支援する会は4年後、高橋選手のさらなる飛躍を期し解散を決定しました。

高橋選手は大会直前にけがを負ったものの、唯一出場した回転種目で前回大会（平昌、17位）を上回る12位となったことなどを振り返り、「4年後、万全の状態でメダル獲得を目指す」と決意を述べました。

また、同支援する会は、大会が終了したことを受けて解散しました。

3月に開催された北京冬季パラリンピックのアルペン競技に出場した、本町出身の高橋幸平選手の報告会が3月27日、町公民館で行われました。「パラリンピアン高橋幸平選手を支援する会」の会員ら約30人が出席し、高橋選手の活躍をたたえました。

北京冬季パラリンピック 高橋幸平選手が出場報告



出場に係る応援に感謝を述べる高橋選手



履修証明書などを
持つ朴田さん

「履修とアグリ管理士の取得を報告。作業の効率化による農地集約化に向けたプロセスの明確化を戦略計画に盛り込み、成績に関し最優秀賞も受賞。」町とともに、計画を進めたい」と意気込みを新たにしました。

朴田さんが最優秀賞 いわてアグリFスクール

農業組合法人「サンやば」の朴田敦志さんが4月4日、高橋町長へ「いわてアグリフロンティアスクール



令和3年度の山ゆり賞受賞者
(右から記事記載の順)

町青少年健全育成町民会議の令和3年度「山ゆり賞」表彰式は4月5日、町公民館で行われました。受賞者は次のとおり。（敬称略）

▼佐々木定子（高田2区）、金子恵夫（北郡山）、佐々木榮（広宮沢一区）、佐々木京子（矢巾町母子寡婦福祉協会）、吉田純子（読み聞かせボランティアおはなしちちんぐい）

青少年育成活動に尽力 山ゆり賞に5人

※岩手大学、JAいわてグループ、県が構成する運営協議会が主催。経営革新や地域農業の確率に取り組む先進的な農業経営者の育成などを目的に開催。



起工式で、くわ入れするプロロジスの
山田御酒会長兼 CEO（プロロジス提供）



プロロジスパーク盛岡の
完成予想図（プロロジス提供）

**プロロジスパーク盛岡
来年11月完成に向け起工式**

物流施設の開発、運営などを手掛けるプロロジス（日本本社・東京）は3月30日、広宮沢に建設する賃貸用物流施設「プロロジスパーク盛岡」の起工式を現地（左略図）で行いました。同社や町などから関係者35人が出席し、工事の安全を祈願し、地域経済の発展を期しました。

建設場所は、みちのくコカ・コーラボトリング本社の跡地7・4ヘクタール。施設は延べ床面積約10万平方メートル、鉄骨3階建て。最大12企業が入居可能。北東北の物流拠点としての役割や、雇用創出などの効果が期待されます。



高橋町長から修了証などを
代表受領する花立さん

令和3年度の町防災士養成講座修了式を3月27日、町公民館で実施。21人が防災士となり、今後の防災に関する活動に向けて意気込みを新たにしました。

修了式では、受講者を代表して花立弘さん（南矢幅3区）が高橋町長から修了証などを受領。また、岩手大学の齋藤徳美名誉教授の防災講話も行われました。

**防災士講座修了式
21人のリーダーが誕生**



高橋町長へノートを贈る
伊藤良太主将（右）

町内に練習拠点を置くプロバスケットボールチームの岩手ビッグブルズは3月23日、町内の小学1、2年生向けの「がくしゅうノート」1千冊を町に対して寄贈しました。

同チームの地域貢献の一環で、ノートの制作は杜陵高速印刷と連携して行われました。

**地元チームに親しんで
ブルズからノート寄贈**



平和への祈りを込め、歌声を披露する
不來方高校音楽部（左）、矢巾北中学校特設合唱部（右）

**平和への祈り込めて
全国大会予定校がコンサート**

第15回声楽アンサンブルコンテスト全国大会に出場予定だった矢巾北中学校特設合唱部（久光さくら部長）、不來方高校音楽部（吉田陽部長）など3校による合同コンサートが4月3日、盛岡市民文化ホールで行われました。約600人が来場し、全国屈指の実力を誇る各校の歌声に聞き入りました。

同大会は3月18、21日に開催予定でしたが、同16日に発生した地震の影響で中止。合同コンサートでは第1部として大会で演奏予定だった曲を披露し、2部では災害やコロナ禍、戦争などの情勢を踏まえ「祈りをこめて」と題して、平和への祈りを歌声に乗せました。

久光部長（3年）は「大会中止は残念だが、練習の成果を発揮する場ができ、うれしかった」。吉田部長（3年）は「今できることを頑張ろうと、話し合い臨んだ。歌えることはありがたいと感じた」と演奏に込めた思いを述べました。



板澤署長（右）から称賛状を受け取る高橋町長



高橋町長から委嘱状の交付を受ける戸塚幸子さん

**町交通安全指導隊
16人へ委嘱状交付**

町交通安全指導隊の委嘱状交付式を4月5日、町役場で行った。高橋町長から、隊員16人に交付しました。任期は令和6年3月末までの2年。

同隊は春と秋の全国交通安全運動を始めとした各種交通安全活動に従事する他、学校などでの交通安全教室の開催を通して、町の交通安全に尽力しています。

**交通死亡事故ゼロ1年半
県警から称賛状**

町は4月3日、交通死亡事故ゼロ1年6カ月を達成しました。翌4日、町役場で称賛状の伝達式が行われ、板澤裕之紫波警察署長から高橋町長に対して手渡されました。

町内では令和2年10月3日、西徳田の県道での交通死亡事故が最後の死亡事故発生となっています。今後も、交通安全へ皆様のご協力をお願いします。



町地域おこし協力隊に
就任した中田さん

新協力隊員に中田さん 町の情報発信を担当

新たな地域おこし協力隊に
4月6日、中田雅博さんが就
任しました。中田さんは映像
制作などの業務に従事してき
た経験を生かし、町の情報発
信などに関する業務に取り組
みます。

中田さんは「活動を進める
中でいろいろな人を巻き込み、
発信したことが多くの人に届
く状況を作っていきたい」と
意気込みを述べました。



退任式後、高橋町長と
懇談する新田さん

地域おこし協力隊 新田隊員が卒業

町地域おこし協力隊として
3年間活動した新田真末さん
が3月31日、任期を終え退任
しました。同日、町役場で退任
式を行い、新田さんに対し高
橋町長から、感謝状を授与し
ました。

新田さんは「新しい挑戦を
し続ける3年間だった。経験
を生かして今後も最大限、頑
張りたい」と話しました。

町が締結した協定を紹介

町は3月、3件の協定を締結しました。ここでは、協定の相手方
と協定内容の概要を紹介します。



エルテスと包括連携協定

ICTの活用による地域のデジタル化を推
進し、町民サービスの向上と住民の健康促進、
環境保全を始めとした地域課題の解決を図り
ます。【写真・左から】菅原貴弘社長と高橋町長



明治安田生命保険相互会社と 包括連携協定

町民の健康増進や町民サービスの向上に向
け文化振興、産業・観光振興、安全安心なま
ちづくりなどに関することと連携します。
【写真・左から】横山幸司盛岡支社長と高橋町長



岩手三菱自動車販売・三菱自動車工業 災害時の電動車両支援に関する協定

災害時、電力の供給源にもなる電動車両な
どが無償貸与され、避難所運営などに役立て
られます。【写真・左から】岩手三菱自動車販売の佐
藤初雄取締役、高橋町長、三菱自動車工業の根本翔平
フィールドマネージャー